

高校1年生を思い出してみました

小学校は自宅の真裏。中学校までは徒歩3分。たかが自転車で20分の高校へ登校するのも、私にとっては危機的状況でした。「しばらくは先導してやろう」と言った2つ上の兄は、信号次第で毎日違う道を通る。あれほど兄に腹が立って抗議したのは、後にも先にもその時だけです。クラスは1年A級33番。3という数字は好きだったので、なんとなく嬉しかったのを覚えています。けれども、何度見てもクラスに知り合いは見当たらない…。10クラスもある1学年の廊下は果てしなく長く、A級から知り合いの誰かを訪ねていく気にもなれません。面倒くさがりの私は教室でぼんやりすることを選びました。

そうやって始まった「誰もいない」クラス。よくよく見てみると、出席番号が次の子は保育園の時に仲良しだった子。薄情な私は母から言われるまで気づきもしませんでした。授業中、隣でいつも寝ている女の子は、中学時代バドミントンの県チャンピオン。試合の時の顔しか知らず、最初こそびびってしまったけれど、全身を使って笑う面白い子でした。初日にお弁当に誘ってくれたのは、クラスで唯一同じ中学校だった優しい子。後々聞いた話では、必死の思いで話しかけてくれたらしい。休み時間も一人で座ってぼーっとしていた私は、今思えば近寄りがたかっただろうに…時間とともに、きちんとクラスの一員として受け入れてもらっていました。ありがたいかぎりです。A級はとにかくエネルギーのあるクラスで、ひときわ元気な（騒がしい）クラスという認識をされていたと思います。先生方からもよく注意を受け、「反省」という言葉の意味を問われたこともありました。学校行事のたびにケンカ?もしていました。出来事を述べると問題だらけに聞こえますが、何かをやりたい！成し遂げたい！楽しみたい！というクラスメイトの強い思いは、当時のらりくらしと生きていた私にとって、非常に新鮮でおもしろかったのを思い出します。

人が環境を作り、環境が人を育てる。高校1年生の時のクラスのおかげで、苦しいことにも、楽しいことにも力を尽くして取り組むことの大切さを知りました。ほんの少しの勇気と思いやりで、友人ができることを学び、今では初対面の人とも臆せず話せるようになっていきます。もちろん、自分自身で頑張らなくてはならないことも多くありますし、出会う人全員と気が合うという奇跡は起きません。けれど、時を同じくしてこの日南高校にやってきた仲間です。1学年のみんなには団結して頑張ってもらいたい。私もその一員として一緒に頑張りたいと、自身の高校生活を思い出した今改めて思っています。

さて、高校生活初めての定期考査はどうでしたか。みんなと頑張る雰囲気を作れましたか。高校総体や各種大会への意気込みはいかがでしょう。どうか、ひとつひとつの「初めて」を大切に過ごして次に繋げてください。1年生の特権なのだから、精一杯やらなくてはもったいない。そう私は思います。

【週行事予定】

月	日	曜	行事予定	FT	課外	備考
5月 ／ 6月	24	月	成績確認票配布	○	A	7:25 登校
	25	火		○	A	7:25 登校
	26	水	耳鼻科検診 10:00-	×	A	7:25 登校
	27	木	⑦壮行式 15:20-	○	A	7:25 登校
	28	金		○	A	7:25 登校
	29	土				
	30	日				
	31	月		○	C	7:25 登校
	1	火	特編授業④	×	×	8:15 登校
	2	水	特編授業④	×	×	8:15 登校
	3	木		○	C	7:25 登校
	4	金		○	C	7:25 登校
	5	土				
	6	日				